

6月16日(日) プログラム

A会場(西館1Fテルサホール)

■ 9:00 ~ 10:30 シンポジウム A-1

消防業務従事者へのトラウマケア：ピアサポートの現状と課題

企画：前田 正治(福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座)
座長：前田 正治(福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座)
大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター)
シンポジスト：幾田 雅明(東京消防庁)
三浦有紀子(塩釜地区消防事務組合)
安達 健治(NPO 法人日本消防ピアカウンセラー協会)
指定討論者：大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター)

- A-1-1 被災消防職員に対する他消防職員による惨事ストレスケアの試み(ピアだからできたこと)
幾田 雅明(東京消防庁)
- A-1-2 中小規模消防組織の惨事ストレスケア：その実態と課題
三浦有紀子(塩釜地区消防事務組合)
- A-1-3 NPOによる惨事ストレスケアの実践
安達 健治(NPO 法人日本消防ピアカウンセラー協会)

■ 10:40 ~ 12:10 シンポジウム A-2

人為災害とトラウマ：2020年東京五輪に向けて考えるべきこと

コーディネーター：重村 淳(防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座)
高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター 精神科、筑波メディカルセンター 精神科)
座長：重村 淳(防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座)
高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター 精神科、筑波メディカルセンター 精神科)
シンポジスト：重村 淳(防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座)
瀧野 揚三(大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター)
松井 豊(筑波大学人間総合科学研究科)
高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター 精神科、筑波メディカルセンター 精神科)

- A-2-1 人為災害が与える心理社会的影響
重村 淳(防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座)
- A-2-2 学校危機事例への対応から学ぶこと
瀧野 揚三(大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター)
- A-2-3 地下鉄サリン事件被害者のトラウマ
松井 豊(筑波大学人間総合科学研究科)
- A-2-4 人為災害と精神的ケアにおける現在の課題
高橋 晶(筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター 精神科、筑波メディカルセンター 精神科)

■ 12:30 ~ 13:30 ランチタイムセミナー II

逐次通訳あり

UNSW Traumatic Stress Clinic: Recovery and Growth From Trauma

座長：瀧野 揚三(大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター)
演者：Richard Bryant(University of New South Wales, Sydney)

■ 13:40 ~ 15:10 シンポジウム A-3

PTSDの脳科学

企画：元村 直靖(大阪医科大学看護学部)
金沢 徹文(大阪医科大学 神経精神医学教室)
座長：金沢 徹文(大阪医科大学 神経精神医学教室)
戸田 裕之(防衛医科大学校 精神科学講座)
シンポジスト：鈴木 章円(富山大学大学院 医学薬学研究部(医学) 生化学講座、CREST, Japan Science and Technology)
坂口 昌徳(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)
千葉 俊周(国際電気通信基礎技術研究所 脳総合情報研究所 行動変容研究室、神戸大学大学院 医学研究科 精神医学分野)
戸田 裕之(防衛医科大学校 精神科学講座)

- A-3-1 Posterior Parietal Cortexの活動調節による恐怖連合記憶制御
鈴木 章円(富山大学大学院 医学薬学研究部(医学) 生化学講座、CREST, Japan Science and Technology)
- A-3-2 睡眠中の恐怖記憶処理：PTSDの新たな治療戦略に向けて
坂口 昌徳(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)
- A-3-3 ニューロフィードバックによるPTSD治療に関する研究の現状
千葉 俊周(国際電気通信基礎技術研究所 脳総合情報研究所 行動変容研究室、神戸大学大学院 医学研究科 精神医学分野)
- A-3-4 児童虐待のPTSDを引き起こす分子メカニズム
戸田 裕之(防衛医科大学校 精神科学講座)

■ 15:20 ~ 16:50 シンポジウム A-4

西日本豪雨被害後の自治体職員のケア ～多職種・多機関連携について考える

企画：大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター)
座長：上田 一気(東北大学病院 精神科、みやぎ心のケアセンター)
シンポジスト：伊藤 直美(倉敷市役所人事課安全衛生係)
西村 大樹(岡山大学)
大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター)

- A-4-1 西日本豪雨における倉敷市役所の取り組み～産業保健部門の立場から～
伊藤 直美(倉敷市役所人事課安全衛生係)
- A-4-2 西日本豪雨における岡山県臨床心理士会の取り組み～倉敷市役所との連携を中心に～
西村 大樹(岡山大学)
- A-4-3 西日本豪雨における外部組織の役割～地域の専門職を支えるために～
大澤 智子(兵庫県こころのケアセンター)

B会場（東館 2F セミナー室）

■ 9:00～10:30 シンポジウム B-1

回復のための場とグループの活用

～Therapeutic Community の実践と課題～

企画：野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
座長：野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
シンポジスト：野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科）
毛利 真弓（同志社大学 心理学部）
大嶋 栄子（特定非営利活動法人リカバリー、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）
指定討論者：平井 秀幸（四天王寺大学 人文社会学部）

B-1-1 **トラウマの影響を受ける支援者と組織 ～安全・安心な関係性と場の創造のために～**
野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科）

B-1-2 **TCの歴史と日本における男性受刑者のTC実践**
毛利 真弓（同志社大学 心理学部）

B-1-3 **身体と親密圏～親密性と生の共同性をめぐる再生について**
大嶋 栄子（特定非営利活動法人リカバリー、
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）

指定討論 **安全・安心な『回復』の場を創造するとはいかなることか——社会学の視点から**
平井 秀幸（四天王寺大学 人文社会学部）

■ 10:40～12:10 シンポジウム B-2

犯罪被害者の権利擁護とサポート

企画：大岡 由佳（武庫川女子大学/准教授）
座長：大塚 淳子（帝京平成大学/教授）
大岡 由佳（武庫川女子大学/准教授）
シンポジスト：大岡 由佳（武庫川女子大学/准教授）
森田ひろみ（いばらき被害者支援センター/事務局長・公認心理師・臨床心理士）
木本 克己（横浜市市民局・公認心理師/臨床心理士/精神保健福祉士）
鴻巣たか子（「ハートバンド」犯罪被害者団体ネットワーク/当事者・社会福祉士）
指定討論者：中島 聡美（武蔵野大学/教授）

B-2-1 **犯罪被害者支援の多機関連携調査の実態からみえてくるもの**
大岡 由佳（武庫川女子大学/准教授）

B-2-2 **民間被害者支援団体の現状と課題**
森田ひろみ（いばらき被害者支援センター/事務局長・公認心理師・臨床心理士）

B-2-3 **地方公共団体における犯罪被害者等支援体制の整備促進に向けた取り組みとそこから見えてくる課題**
木本 克己（横浜市市民局・公認心理師/臨床心理士/精神保健福祉士）

B-2-4 **犯罪被害者支援充実に向けた市民活動**
鴻巣たか子（「ハートバンド」犯罪被害者団体ネットワーク/当事者・社会福祉士）

■ 13:40～15:10 シンポジウム B-3

精神科診療所でのトラウマ治療はどこまで可能か？

～現状と課題

企画：大久保圭策（大久保クリニック）
稲田 泰之（医療法人悠仁会 稲田クリニック）
座長：大久保圭策（大久保クリニック）
稲田 泰之（医療法人悠仁会 稲田クリニック）
シンポジスト：稲田 泰之（医療法人悠仁会 稲田クリニック）
浜垣 誠司（高木神経科医院）
野呂 浩史（南平岸内科クリニック）

B-3-1 **精神科診療所における専門分化と分業をどう評価するか
～トラウマ治療における非専門医療機関の立場から**
稲田 泰之（医療法人悠仁会 稲田クリニック）

B-3-2 **一診療所におけるトラウマ臨床への関わり**
浜垣 誠司（高木神経科医院）

B-3-3 **精神科診療所におけるトラウマの取説**
野呂 浩史（南平岸内科クリニック）

■ 15:20～16:50 シンポジウム B-4

国際保健分野での開発課題としてトラウマとメンタルヘルス

企画：田中英三郎（兵庫県こころのケアセンター）
座長：田中英三郎（兵庫県こころのケアセンター）
シンポジスト：田中英三郎（兵庫県こころのケアセンター）
堤 敦朗（金沢大学 国際機構・人間社会環境研究科）
井筒 節（東京大学大学院総合文化研究科教養教育高度化機構）
指定討論者：重村 淳（防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座）

B-4-1 **障害者権利条約とSDGs時代の精神保健・ウェルビーイング**
井筒 節（東京大学大学院総合文化研究科教養教育高度化機構）

B-4-2 **国際保健分野での災害精神保健に関する活動と研究**
田中英三郎（兵庫県こころのケアセンター）

B-4-3 **精神保健・心理社会的支援におけるPFA（心理的応急処置）の効果に関する国際的
実証研究**
堤 敦朗（金沢大学 国際機構・人間社会環境研究科）

指定討論 **国際テーマとしてのトラウマ：JSTSSの取り組みを含めて**
重村 淳（防衛医科大学校 医学教育部 精神科学講座）

C会場（東館 2F 中会議室）

■ 9:00～10:30 シンポジウム C-1

性暴力被害者支援について地域の関係機関への理解や連携の輪を広げるには

企画：周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）
座長：井上摩耶子（ウィメンズカウンセリング京都）
シンポジスト：福井 千津（京都府家庭支援総合センター）
保崎恵理子（京都府警察本部）
藤田 光恵（ふじたみつえクリニック）
周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）
指定討論者：浜垣 誠司（高木神経科医院）

C-1-1 京都SARAにおける連携ネットワークとその課題

福井 千津（京都府家庭支援総合センター）

C-1-2 警察とワンストップセンターとの連携における課題 ～京都府警察と京都SARAの実践から～

保崎恵理子（京都府警察本部）

C-1-3 性暴力被害者ワンストップ支援センターとの連携 ～地域の精神科・心療内科のネットワークづくりにおける課題～

藤田 光恵（ふじたみつえクリニック）

C-1-4 京都SARAにおけるトラウマケアとTIC

周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）

■ 10:40～12:10 シンポジウム C-2

NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）における臨床的判断と柔軟性

企画：森 茂起（甲南大学文学部人間科学科）
座長：野呂 浩史（南平岸内科クリニック）
シンポジスト：荒川和歌子（南平岸内科クリニック）
大石 聡（静岡県立こども病院こころの診療科）
服部 隆志（大阪府岸和田子ども家庭センター）
指定討論者：森田 展彰（筑波大学医学医療系社会精神保健学）

C-2-1 Complex PTSD 患者に対する NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）の実践 荒川和歌子（南平岸内科クリニック）

C-2-2 児童精神科における NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）実践 大石 聡（静岡県立こども病院こころの診療科）

C-2-3 被虐待経験があり児童福祉施設入所となった子どもへの NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）実践 服部 隆志（大阪府岸和田子ども家庭センター）

指定討論 NET（ナラティブ・エクスポージャー・セラピー）の役割と可能性 森田 展彰（筑波大学医学医療系）

■ 13:40～15:10 シンポジウム C-3

戦争とトラウマについて考える

企画：野田 哲朗（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
座長：野田 哲朗（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
シンポジスト：福浦 厚子（滋賀大学経済学部）
野田 哲朗（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）
中村 江里（日本学術振興会特別研究員 PD（慶應義塾大学））
高遠菜穂子（イラク人道支援ワーカー「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」）

C-3-1 軍事組織とその成員の家族：組織と家族の視点

福浦 厚子（滋賀大学経済学部）

C-3-2 コンバット・ストレス研究が必要とされる時代

野田 哲朗（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）

C-3-3 近現代日本における戦争とトラウマ：1931～1995

中村 江里（日本学術振興会特別研究員 PD（慶應義塾大学））

C-3-4 イラク戦争とトラウマ

高遠菜穂子（イラク人道支援ワーカー「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」）

■ 15:20～16:50 シンポジウム C-4

支援者養成と支援とのつながりを考える

企画：内海 千種（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）
座長：内海 千種（徳島大学大学院社会産業理工学研究部）
シンポジスト：楠本 節子（大阪被害者支援アドボカシーセンター）
中村 加奈（徳島県民環境部男女参画・人権課）
中村 有吾（徳島大学キャンパスライフ健康支援センター）
指定討論者：飛鳥井 望（医療法人社団青山会 青木病院／公益社団法人 被害者支援都民センター）

C-4-1 支援者養成と関係機関との有機的連携

楠本 節子（大阪被害者支援アドボカシーセンター）

C-4-2 性暴力被害者回復支援心理士養成の実践報告

中村 加奈（徳島県民環境部男女参画・人権課）

C-4-3 学校教育領域の職員研修を考える

中村 有吾（徳島大学キャンパスライフ健康支援センター）

D会場（東館 3F 大会議室）

■ 9：00～10：30 シンポジウム D-1

東日本大震災後に誕生した子どもの発達・メンタルヘルスと家族支援 ～8年後の被災地の現状

企画：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
座長：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
松浦 直己（三重大学教育学部、福井大学）
シンポジスト：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
松浦 直己（三重大学教育学部、福井大学）
榎屋 二郎（東京医科大学、福島大学）
福地 成（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

- D-1-1 東日本大震災から8年後の被災地の現状と「みちのくこどもコホート」研究の概要
八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
- D-1-2 ベースライン結果と追跡結果続報 =MiCCa
松浦 直己（三重大学教育学部、福井大学）
- D-1-3 東日本大震災後中長期における子どもの認知発達・行動・情緒の傾向と学校支援の実践
榎屋 二郎（東京医科大学、福島大学）
- D-1-4 母親のメンタルヘルスと地域支援の実際
福地 成（公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

■ 10：40～12：10 シンポジウム D-2

発達障害とトラウマ関連障害の架け橋 ～「見分ける」から「みだてる」へ～

企画：笠原 麻里（駒木野病院）
八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）
座長：松浦 正一（帝京平成大学）
笠原 麻里（駒木野病院）
シンポジスト：服巻 智子（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）
田中 康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ）
榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野）
八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）

- D-2-1 自閉スペクトラム症とトラウマ
服巻 智子（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）
- D-2-2 発達障害臨床から見る架け橋
田中 康雄（こころとそだちのクリニックむすびめ）
- D-2-3 非行を起こした少年達への支援において大切な視点～発達とトラウマ～
榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野）
- D-2-4 大災害後の長期経過で顕在化する子どものトラウマと発達に関する複雑な問題の実相
八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座、岩手医科大学いわてこどもケアセンター）

■ 13：40～15：10 シンポジウム D-3

虐待された子どもへの支援の最前線 ～児童相談所におけるトラウマケア～

企画：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
座長：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）
中島 淳（大阪府池田子ども家庭センター）
シンポジスト：竹腰 知子（大阪府中央子ども家庭センター）
坂田 香織（横浜市中央児童相談所）
全 智奈（京都市児童相談所）
小平かやの（東京都児童相談所）

- D-3-1 大阪府におけるトラウマインフォームドケアの取り組み経過と課題
竹腰 知子（大阪府中央子ども家庭センター）
- D-3-2 横浜市におけるトラウマインフォームドケアの取り組みと課題
坂田 香織（横浜市中央児童相談所）
- D-3-3 京都市児童相談所におけるトラウマケアの取り組み
全 智奈（京都市児童相談所）
- D-3-4 東京都児童相談所における治療的介入とトラウマケア
小平かやの（東京都児童相談所）

■ 15：20～16：50 シンポジウム D-4

学校での暴力を考える

企画：瀧野 揚三（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
座長：岩切 昌宏（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
シンポジスト：石田 利伸（大阪府教育庁市町村教育室小中学校課）
瀧野 揚三（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
藤岡 淳子（大阪大学人間科学研究科）

- D-4-1 大阪府における暴力行為減少の取り組み
石田 利伸（大阪府教育庁市町村教育室小中学校課）
- D-4-2 暴力の背景を考える（PBISとSELを基盤としたTIC）
瀧野 揚三（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
- D-4-3 子どもの暴力の理解と対応
藤岡 淳子（大阪大学人間科学研究科）